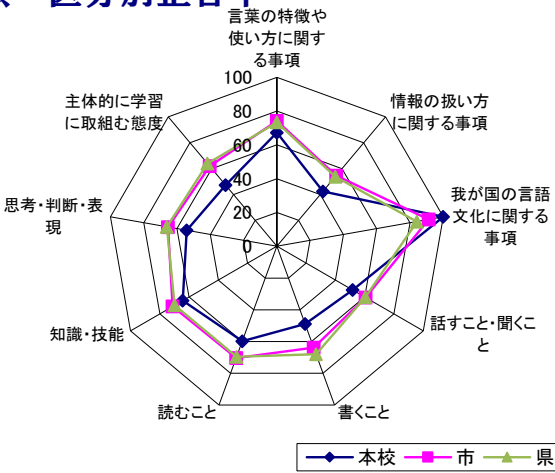


宇都宮市立清原北小学校 第5学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	言葉の特徴や使い方にに関する事項	67.3	74.2	73.3
	情報の扱い方にに関する事項	42.4	54.7	53.8
	我が国の言語文化にに関する事項	100.0	91.2	84.2
	話すこと・聞くこと	51.8	60.6	60.4
	書くこと	48.9	63.8	68.0
	読むこと	59.8	70.4	69.6
観点	知識・技能	64.3	71.3	69.9
	思考・判断・表現	54.2	65.4	66.1
	主体的に学習に取り組む態度	47.3	61.9	64.0



★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方にに関する事項	平均正答率は、市・県の平均より低い。 ○漢字の読みの問題正答率は市・県とほぼ同じである。また、連用修飾語については、県平均より19ポイント高い。 ●4年生の漢字の書き取りについては、県の平均より平均して12ポイント低い。	○新出漢字を学ぶ際、様々な読み方にふれたり、既習の漢字を使った熟語を作らせたりと工夫して指導し、定着を図る。
情報の扱い方にに関する事項	平均正答率は、市・県の平均より低い。 ●情報と情報との関係について理解し、理由や事例などを挙げながら説明する問題については、県平均より5ポイント低い。	・説明文の内容を読み取る際、文中の情報をナンバリングしたりラベリングすることで、情報を正しく理解し、整理できるようにする。
我が国の言語文化にに関する事項	平均正答率は100%で、市・県の平均より高い。 ○ことわざの意味を知り、正しく使う問題については、県平均より15ポイント以上高い。	・今後も、ことわざ辞書等を使い、多様なことわざにふれ、使い方を知ったり、日常生活の中で活用したりすることにより、言葉への関心を高めていく。
話すこと・聞くこと	平均正答率は、市・県の平均より低い。 ○話の中心を明確にするための話し手の工夫をとらえる問題について、県平均より10ポイント高い。 ●話し合い活動において、話し手が伝えたいことの中心をとらえ、自分の考えをもつ問題については、県の平均より23ポイント低い。	・話し合い活動では、自分の考えと友達のことを比較しながら聞いたり、友達の意見につなげて、自分の考えを発表したりするなど、意識させることで表現する力を高める。
書くこと	平均正答率は、市・県の平均より低い。 ●自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして文章を書く問題については、県の平均より23ポイント低い。	・字数や段落の構成を設定し、条件に合った文章を書く活動を多く取り入れることにより、書く力を身に付けさせる。また、新聞・ポスター制作など、書く活動に取り組む際、伝えたい内容が相手に伝わるように意識して書かせるようにする。
読むこと	平均正答率は、市・県の平均より低い。 ○叙述を基に文章の内容をとらえる問題は、県の平均より4ポイント高い。 ●登場人物の気持ちの変化や情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像する問題は、県の平均より34ポイント低い。	・物語文の登場人物の気持ちの変化を表す言葉や行動に線を引きながら読むなど工夫して内容を捉え、物語を要約する活動を充実させる。

レーダーチャート表示用タイトル
言語の特徴や使い方に関する事項
情報の扱い方に関する事項
我が国の言語文化に関する事項
話すこと・聞くこと
書くこと
読むこと

知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度